

# 多目的国際ターミナルの整備により 輸送コスト削減に貢献

はちのへ  
file08 **八戸港**

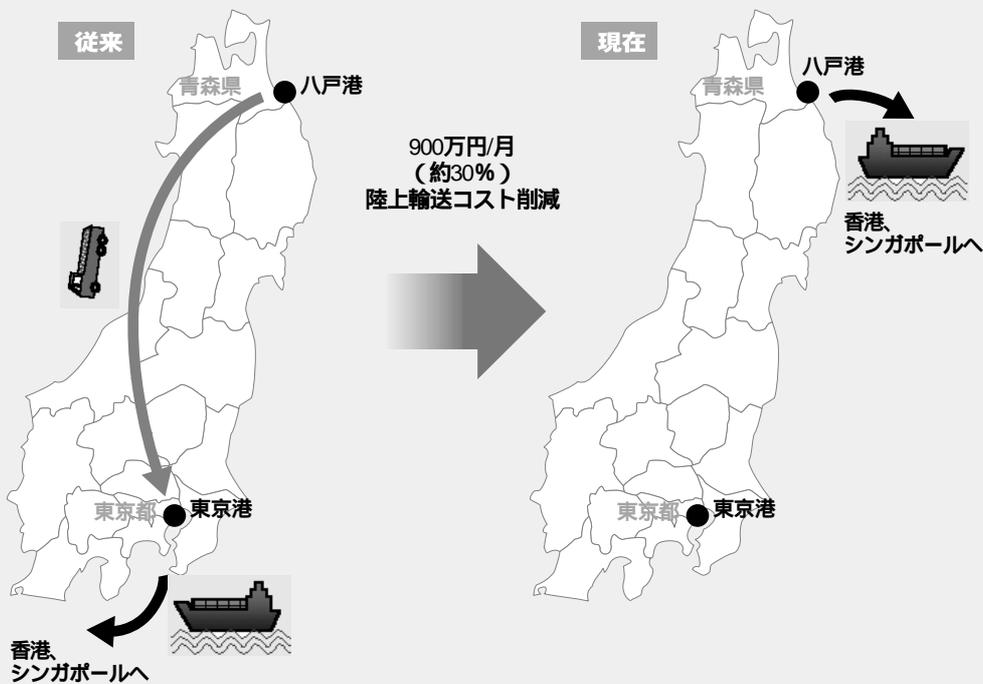
対象施設 八太郎地区多目的国際ターミナル 岸壁(-13m)  
供用 平成13年

港湾利用者である三菱製紙(株)はコート紙、上質紙、板紙を生産・出荷しているが、従来は、製品を八戸工場 東京・横浜港 香港・シンガポールへ輸出していた。多目的国際ターミナルが整備されたことによって外貿コンテナ航路が就航、平成11年には地元港湾を利用した八戸港 香港・シンガポールの物流経路を確立することができた。

これにより、30%の輸送コストの削減が図られた。



●輸出ルート変更によるコストダウン



第2部  
個別港湾事例

●荷役状況とコンテナ積み込み状況

